学級活動（１）学習指導案

廿日市市立吉和小学校

教諭 栗栖 弘幸

- 1 日 時 平成 24 年 6 月 29 日（金） 第 6 校時
- 2 学 年 廿日市市立吉和小学校 第 5 学年 3 人 第 6 学年 7 人
- 3 議 題 リーダーとして児童会集会活動を成功させよう （１）ーウ

4 議題について

（１）児童の実態

本学級の児童は、学級活動や児童会活動等を楽しみながら取り組んでいる。特に、学級での集会活動や児童会集会活動では、目標を意識しながら生き生きと活動し、汗をかいたり、笑みを浮かべたりする姿が多く見られた。

しかし、本学級の児童の傾向として、事前活動と事後活動への取組や下学年の児童へのかかわりにおいて、自発性や自主性が十分に育まれていない実態がある。直前になり準備をしたり、下学年児童を十分に意識せず、自分本位になっていたりすることがあった。それぞれの要因は、計画の段階で活動の見通しや役割が明確になっていなかったことと、児童生徒会活動では中学生がリーダーとなる場面が多く、児童の自発性や自主性を発揮する場が少なかったことと考えられる。

（２）議題の選定理由

そこで、児童会集会活動を実施するに当たり、高学年児童にとって、下学年児童とのかかわり方を見直したり、主体的に活動することを通して自主性等高めたりするよい機会と捉え、本議題を取り上げる。高学年児童一人一人が、下学年児童と積極的にかかわり、自発性や自主性、思いやり等を育み、リーダーとしての資質を高めるとともに、今後の児童会活動をより自発的・自治的に取り組み、よりよい学校生活を自分たちがつくっていかこうとする意欲を育むことをねらいとする。

そのために、事前の活動では、運営委員会（児童会）の児童からの提案を理解し、共有することができる場を設定する。その後、一人一人リーダーとして活動するに当たり、分からないことや難しいと感じること等を議題として取り上げる。本時の活動では、一人一人の児童が児童会集会活動の成功を具体的にイメージするとともに、成功のために何が必要かを話し合い、見通しをもてるようにする。そのために、下学年の児童とのかかわり方等の議題にそって話し合い活動を行う。また、話し合いだけでは十分に理解することが難しい内容については、役割演技を取り入れ体験的に理解し共有することができるようにする。事後の活動では、話し合い活動を通して全員で共有したことを教室内に掲示し、意識を高める。また、児童会集会活動と日常的な活動を通して、互いにリーダーとしての言動を評価し合ったり、困ったこと等を相談したりする場を帰りの会等で設定し、継続的に意欲をもって取り組めるようにする。

5 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・児童会集会活動の意義を理解し、よりよい活動にするために何が必要か、どんなことができるか等を考えようとしている。 ・児童会集会活動に向けて、話し合いで決定したことをもとに、リーダーとして進んで取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会集会活動の意義を踏まえ、リーダーとしての下学年児童とのかかわり方や話し合いの仕方、楽しく遊ぶためのルール等について自分の考えを書いたり、発言したりしている。 ・友達の発言を理解し、思いを受け止めながら共感的に聞いている。 ・友達の考えのよさに着目して、それを生かして発言をしている。 ・下学年とのかかわり方を考えながら話し合いを進めたり、振り返りをしたりする等、楽しく活動できるようリーダーとして取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会集会活動が、児童会活動目標「信頼」への取組であることと、高学年としてリーダーの役割を担い、活動することの意義を理解する。

6 事前の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿 と評価方法
6月28日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会（児童会）より児童会集会活動を実施することを知る。 ・児童会集会活動を行うにあたり、よりよい活動にするために何が必要か、また、分からないことや不安なこと等、5・6年生で話合いたいことを考え、議題集約用紙に記入し、司会者と記録者へ伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会（児童会）が行う「児童会集会活動実施のお知らせ」を通して、活動の意義と協力の必要性を理解できるようにする。 ・些細なことでも伝えることができるように、議題集約用紙を工夫する。 ・司会者や記録者と打ち合わせをし、議題を分類し、まとめる。 	<p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会集会活動が、児童会活動目標「信頼」への取組であることと、高学年としてリーダーの役割を担い、活動することの意義を理解する。〈議題集約用紙〉 <p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会集会活動の意義を理解し、よりよい活動にするために何が必要か、どんなことができるか等を考えようとしている。〈議題集約用紙〉

7 本時の活動

話合いの順序 (児童の活動)	指導上の留意点	目指す児童の姿 と評価方法
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 タッチ挨拶</p> <p>3 司会者と記録者の自己紹介</p> <p>4 議題の確認</p> <p>5 話合い</p> <p>話し合うこと① ○下学年の児童とのかかわり方</p> <p>話し合うこと② ○話合いの進め方</p> <p>話し合うこと③ ○楽しく遊ぶためのルール</p> <p>6 決まったことの確認</p> <p>7 話合いの振り返り</p> <p>8 おわりのことば</p>	<p>○全員で話合いを進めていく（一人一人が自己存在感をもてるようにする）ことへの意識を高める。</p> <p>○役割を担う児童が自己存在感を高められるよう、みんなで拍手をする。</p> <p>○司会者から議題について説明する場を設け、話合いの必要性を高め、目的をはっきりもつことができるようにする。</p> <p>○司会者と記録者へ助言を与えるとともに、児童一人一人の発言を共感的に受け止め、それぞれの児童へ感じたこと等を伝える。</p> <p>○一人一人がリーダーとしての自覚をもつことができるように、一人一人の考えを短冊に書いたり、意見を言う場を与えたりする。</p> <p>○具体的な場面を想定し、役割演技等を取り入れ、全児童が理解し、共有することができるようにする。</p> <p>○安全面、設備面等を考慮しながら、児童が発意したことをできるだけ生かすようにする。</p> <p>○集団決定したことについて、一人一人が納得した上で決まったことを肯定的に評価し、共有し、実践することができるようにする。</p> <p>○児童の感想を生かしながら、児童の一人一人の頑張りや話合い活動全体の評価を行い、児童会集会活動と今後の話合い活動への意欲を高める。</p> <p>○児童全員が気持ちよく話合い活動を終えることができるように、タッチ挨拶等を行う。</p>	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会集会活動の意義を踏まえ、リーダーとしての下学年児童とのかかわり方や話合いの仕方、楽しく遊ぶためのルール等について自分の考えを書いたり、発言したりしている。 ・友達の発言を理解し、思いを受け止めながら共感的に聞いている。 ・友達の考えのよさに着目して、それを生かして発言をしている。 <p style="text-align: right;">〈観察・短冊〉</p>

8 事後の活動

日 時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法
7月2日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動を通して全員で共有したことを教室内に掲示する。 ・帰りの会等で児童会集会活動にむけて確認したいことや不安なこと等を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いで集団決定したことを教室内に掲示し、意識を高める。 ・帰りの会等において、児童同士が児童会集会活動に向けて、確認したいことや不安なこと等を出し合える場を設定し、継続的に意欲を高める。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会集会活動に向けて、話し合いで決定したことをもとに、リーダーとして進んで取り組もうとしている。 〈観察〉
7月4日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会集会活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの話し合いや準備について肯定的に評価し、意欲を高めて児童会集会活動に取り組めるよう、活動前や活動中に声をかける。 ・活動後は、集団決定した取組について、具体的に肯定的に評価する。 	<p>【思考・判断・実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下学年とのかかわり方を考えながら話し合いを進めたり、振返りをしたりする等、楽しく活動できるようリーダーとして取り組んでいる。 〈観察・振返りカード〉